

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月12日更新

事務事業名	健幸都市こうし推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	市長公室	
	施策	5	健康づくりの推進		所属課	秘書政策課	
	施策の柱	19	病気になるない生活習慣の確立		所属班	秘書政策班	
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 25	事業連番 11669	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>本市は「健康幸福都市こうし」として、市民の健康、行財政の健康の2本を骨子に掲げ推進しており、「健康幸福都市こうし」の実現を図る一翼を担うものである。本事業では、健康寿命と平均寿命の乖離を是正し、医療費適正化、また、健康産業市場の開拓・育成を図り、自立して持続的な成長が可能な市場の形成を行う。また、国が2025年を目途に構築を推進している「地域包括ケアシステム」を見据え、医療・介護・健康政策のみならず、地域政策の根幹としての位置付けを目指す。</p> <p>事業実施主体は「ウエルネスシティこうし」が中心となり、市民等を対象とした健康増進事業や健康データの活用事業として具体的には、以下の事業を行った。</p> <p>①新しい生活様式における運動・スポーツの習慣化促進事業、スポーツ庁の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により運動不足となった中高年齢者等の生活習慣病の悪化やフレイル等の健康リスクを予防するため、コロナ禍でも安心して参加できるオンラインプログラムやフレイル予防とeスポーツによる認知症予防、バーチャルウォーキング大会を実施した。</p> <p>②こうし健幸弁当事業：第2次合志市健康増進計画・食育推進計画に基づき、基本目標である「食を通じた主体的な健康づくりの推進」の観点から、熊本県立大学の先生や県内企業と連携し、栄養計算がされたこうし健幸弁当を開発。参加者には3カ月間平日の昼間にこうし健幸弁当を食べてもらい、血圧測定、体組成測定により事前・中間・事後の身体や意識の変化を測定する取り組みを実施した。</p> <p>③こうし健幸検定事業：子どもから高齢者まで自身の健康に関する知識や理解度を測り、健康について考えるきっかけづくりとして、パソコンやスマートフォンで市民の誰もが気軽に参加できるこうし健幸検定を実施。</p> <p>④健康データベース「マイライフカルテ」構想：上記のような健康イベントや健康診断、日々の暮らしなどにおいて得られる健康データをカルテとしてデジタル化し、市民が自身の健康状態を考え、日々の健康活動に生かしてもらうための基本計画を令和2年度に策定し、令和3年度はサービス内容の整理・設計を行った。</p>
【業務の流れ】	<p>①地方創生推進交付金やスポーツ庁補助金などの計画書作成・申請書提出</p> <p>②計画書に基づき事業実施体制構築して事業実施</p> <p>③負担金や委託料の支払い</p> <p>④国・県に対して事業実施報告・精算</p>
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、委託料
【意見や要望】	特に意見や要望は上がっていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

1.事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
健幸都市こうしを目指し本市が産学官連携の地域版ヘルスケア産業協議会「ウエルネスシティこうし」と連携し、新しい生活様式における運動・スポーツの習慣化の促進事業や健幸弁当事業、健康検定事業などを行い、市民の健康増進や健康産業創出を図った。(R4.3.31現在会員:4,302人)	ウエルネスシティこうし事務局運営の負担金として地方創生推進交付金を支出予定。令和2年度から4年度までの3カ年に渡り、健康データベース「マイライフカルテ」構想の策定に取り組む。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア:ウエルネスシティこうし正会員数	団体
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民・企業	ア:ウエルネスシティこうし会員数(市民)
	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
健康活動や食育に取組む機運醸成	ア:心身が健康だと感じる割合
	%
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠	
市民の健康増進と地域版ヘルスケア産業を育成するためにウエルネスシティこうしを設立しており、その目標達成に必要な指標とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~年度 0	

各指標・総事業費の推移	単位	31年度	2年度	3年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア 団体	13	14	16	15	16	16	16	16
②対象指標	ア 人	4,203	4,201	4,220	4,302	4,250	4,300	4,350	4,400
③成果指標	ア %	49.7	54.9	54.5	54.3	54.6	54.7	54.8	54.9
投資入費量	財源内訳								
	国庫支出金	千円	6,500	13,949	5,000	14,148	5,000		
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円			1,000	2,440	1,000		
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	6,620	6,959	5,120	5,143	5,120	7,258	7,258
	(A)事業費計	千円	13,120	20,908	11,120	21,731	11,120	7,258	7,258
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費									
正規職員従事人数	人	3	3	3	0	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	1,196	2,400	1,200	0	1,200	1,200	1,200	1,200
(B)人件費計	千円	4,739	9,463	4,780	0	4,780	4,780	4,780	4,780
トータルコスト(A)+(B)	千円	17,859	30,371	15,900	21,731	15,900	12,038	12,038	12,038

事務事業名	健幸都市こうし推進事業	所属部	市長公室	所属課	秘書政策課
-------	-------------	-----	------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 コロナ禍にて例年行っていたウォーキング大会等の屋外イベントは開催できなかったが、ICTを活用したバーチャルウォーキング大会やスポーツ庁補助事業を活用した運動・スポーツ習慣化促進事業を実施することにより、市民や会員の健康づくりに寄与した。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ウエルネスシティこうしや、連携する企業・団体が創意工夫により新たな健康産業の創出に向けた取り組みを実施することで達成可能である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 新規事業の創出や会員の増加により、さらなる事業の展開が可能と考える。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市内唯一の地域版次世代ヘルスケア産業協議会であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 地方創生推進交付金により、ウエルネスシティこうしの運営を行っているが、次年度以降の自走化のために実証事業等を行うため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 正会員の一人として、事務局運営等を確認する必要がある。また推進交付金を支給していることから、予算管理についても確認するため、最小限の事務で行っており削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市・市民に平等にサービス向上を図るための参画事業であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ウエルネスシティこうしが事務局機能を有しており、正会員の一人として官民連携して活動していることから、行政が役割を担う部分のほかは役割分担して行っているため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

令和3年度は地方創生推進交付金やスポーツ庁補助金、多様なモビリティ普及促進事業を活用して、ウエルネスシティこうしの活動支援を行ってきた。個人会員の増加につなげることができ、市民の健康意識の向上に寄与してきた。また、新たな産学官連携の枠組みの中で、自走化に向けて事業を実施できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						